

ホクトが業績予想を下方修正—直ちに格付に影響ないが、今後の業績動向を注視

以下は、ホクト株式会社（証券コード：1379）が23/3期業績予想を下方修正したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は2月10日に業績予想の下方修正を発表した。23/3期の営業損益は26億円の赤字（前回予想は9億円の赤字）、親会社株主に帰属する当期純損益は15億円の赤字（同3億円の黒字）となる見通し。期初計画は営業利益30億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円であったが、事業環境の悪化を受けて11月に下方修正を発表し、今回2度目の修正となった。安値が続く野菜市況や供給量の増加によってきのこの単価が安値で推移していることに加え、原材料価格や電力費などの高騰による製造コストの悪化が主な要因である。
- (2) 23/3期第3四半期末の自己資本は511億円（自己資本比率は49.7%）と、最終赤字の額に対し相応の財務耐久力を有しており、今回の業績予想の修正を受けて直ちに格付を見直す必要はないとJCRは考えている。ただし、市況の低迷やコスト高など、厳しい事業環境は当面続く可能性がある。当社にとって、市況による業績変動リスクは過去からの課題であり、収益性向上のために高付加価値商品の拡販や、消費拡大に向けた販促施策などへの取り組みを強化してきた。今後の事業環境と業績回復の動向を注視していく。

（担当）井上 肇・石崎 美瑛

【参考】

発行体：ホクト株式会社

長期発行体格付：A-

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル